



BRITA Japan 株式会社
2017年10月吉日

BRITA Japan が約 10,000 粒の種を採取
育林活動で環境保全に貢献
2017 年度第 2 回「富士山の森再生プロジェクト」を実施
～10月14日(土)実施～



ドイツ生まれの家庭用浄水器メーカーBRITA Japan 株式会社(東京都中央区、代表者:マイケル・マギー)は、2007年から継続して行っている植樹活動「富士山の森再生プロジェクト」を10月14日(土)に実施いたしました。本プロジェクトは、2007年から毎年、「水を通じた環境保全への貢献」を目指す「BRITA グリーンプロジェクト」の一環として実施しております。2017年4月15日(土)にも実施しており、本年度は2回目の実施となります。

当日は、14名のBRITA社員および家族が集まり、NPO法人ドングリの会の指導のもとで育林活動を実施しました。今回は、植樹地に隣接する林にて、ブナ、ミズナラの種を拾い集める作業を集中的に行いました。落葉に覆われた地面から種を一粒ずつ拾い上げる作業は、育林活動においては重要な作業となるため、参加者全員で協力し、2時間でブナの種約5000粒、ミズナラの種(ドングリ)約4500粒を採取しました。今冬都内の苗畑に種まきをし、数年後、育った苗を再び現場に戻す予定です。また午後からは、社員が4年前に同じ場所で採取し、その後自宅で育てた苗を現場に戻す作業を行いました。

BRITAは、専用カートリッジにより水道水を濾過し、ペットボトルを買わずともおいしい水がお楽しみいただける環境にやさしい製品を展開しております。また、日々の水分補給を、よりエコで経済的なものに変えていくことを目的としたパートナーシップとして「BRITA Partners」も結成しております。本プロジェクトに協働で取り組んでいるNPO法人ドングリの会も、「BRITA Partners」の一員です。

これからもBRITAは、CSR活動を通し、水を守る環境保全活動を通して水を守り、皆様にエコでおいしい水を届けてまいります。

【富士山の森再生プロジェクト概要】

- 開催日 : 2017年10月14日(土)
- 参加者 : BRITA 社員および家族 14名
- 活動内容 : ミズナラ、ブナの種の収穫



【BRITA グリーンプロジェクトについて】

BRITA Japan では、自然環境において「山を守り、森を育てる」ということは、そのまま「水を守り、生活を守る」ことに繋がるという考えのもと、水を通じた社会貢献をこころざし、環境保全活動「BRITA グリーンプロジェクト」を進めています。2007年5月より生態系回復の目的で、植樹活動を開始。毎年ブナ、ミズナラ、カエデ、ヒメシャラ等の広葉樹を植樹しております。

【BRITA について】

ブリタは、1966年ドイツで誕生。

現在では、25の子会社、45以上のパートナーシップのもと、世界66カ国以上で広く親しまれている浄水器のリーディングブランドです。

欧州では家庭用浄水器だけでなく、業務用ろ過システムの開発、製造、販売も展開しています。

会社名：BRITA Japan 株式会社(ブリタ・ジャパン株式会社)

本社：東京都中央区銀座3-15-10
菱進銀座イーストミラービル 7F

ウェブサイト：www.brita.co.jp / モバイルサイト：www.m.brita.co.jp



※画像データ・撮影用商品をご希望の方は、上記PR事務局までご連絡下さいませようお願い致します。

※本リリースをお送りさせて頂いている皆様の個人情報は、株式会社イニシャルの個人情報保護方針に基づいて厳重に管理させて頂いております。今後、弊社からのニュースリリースの配信を希望されない方は、恐れ入りますが privacy@vectorinc.co.jp までご連絡をお願い致します。